

事業所名

BLUE PLANETS、BLUE PLANETSはいき

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念		支援を必要とするお子さまとその家族の心が癒され、穏やかな生活を送ることができるように、保育士や療法士が協力して、専門的な視点で寄り添っていきます。					
支援方針		①心理検査（アセスメント）を用いて、支援の根拠を追求します。 ②『アセスメントと一体化した支援』『科学的根拠に基づいた療育』を実施します。 ③療育の成果について、アセスメントを用いて客観的に効果判定します。					
営業時間		8時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康な心と体を育て、健康で安全な生活を作り出し、生きる力や自立心を育てていくために、こどもの障害特性、発達過程に合わせて支援します。 子どもの生活に必要な基本的な生活動作を獲得できるよう支援し、環境の工夫を行います。障害の特性に配慮し、見通しが持てるよう時間や空間を構造化していきます。 子どもが主体的に、多様な遊びや活動に参加できるように、環境を構成し、自己選択・自己決定できる関わりを行い、大人に見守られている安心感を提供します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢の保持や姿勢変換、バランス、基本的な運動技能の向上につながるよう、関節可動域や筋緊張の維持・改善を図り、全身の協調運動・手先の細かい操作性の向上を目指します。 サーキットやスイング、感触遊び等を通して、視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚等の感覚ニーズを満たし、感覚の偏りに対応します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの感覚・認知的特性を理解し、環境調整や関わり方を工夫し、行動調整へつなげていきます。 ルールのある遊びや制作活動、机上課題等を行い、道具操作の発達を促し、形・色・大小・数・時間等の概念形成を図っていきます。 子どもの障害特性に応じた読み書き計算の基本的技能の習得を目指します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力を身につけることができるよう、子どもの興味・関心等にに合わせて、相手に伝えたい気持ちを育む支援を行います。 言語・非言語での理解と表出することができるよう、発達段階に合わせて支援を工夫します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの好きな遊び、馴染みのある活動、安心できる環境を提供することで、アタッチメント（愛着）の形成と安定を図ります。 触れ合い遊び、みたて遊び、ごっこ遊び、ルール遊び等を通じて、他者とのやり取りの基礎の向上や気持ちのコントロールにつながるよう、社会性の発達を支援します。 情緒的安定を保障しながら、他者の気持ちや意図を理解し、他者からの働きかけを受け取り、それに応じることができるように支援します。 					
家族支援		個別支援計画やモニタリングなどの定期的な面談以外にも、児童や家族、きょうだい児に対して家庭でできる支援方法等についての相談援助を行います。		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 同年代の子どもとの仲間づくりを進めるために、集団での声かけの仕方や活動への誘い方などを伝え、就学先との情報共有や支援方法のすり合わせを行います。また、移行に向けて進学に関する情報提供や助言を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 支援に関わる関係機関や事業所等と情報共有を行います。 学校については情報共有を行い、子どもとの関わり方のポイントを検討したり、環境調整の提案などを行います。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 事業所内研修の実施や外部研修への参加等、職員の質の向上を図り、提供する支援の質の向上を図っています。 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> お正月、こいのぼり作り、ハロウィン、クリスマスなど季節に応じた活動・制作を行っています。 こどもふくし協議会に参画し、他の事業所への後方支援を行っています。 					